

第 1 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成 3 0 年 2 月 1 5 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東千春、高野美枝子、佐藤靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
<p>名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地元定着化推進事業について 2 地方創生推進交付金事業「名寄市立大学を活用した地域ケア力推進事業」について 3 平成 29 年年度中の主な施設整備の状況について <ul style="list-style-type: none"> 新棟建設工事 2 月 28 日引き渡し予定 模擬保育室（旧図書館本館）12 月 25 日引き渡し 中講義室（旧図書館分館）2 月 8 日引き渡し その他 <ul style="list-style-type: none"> 恵陵館臨床栄養実習室改修工事 バリアフリー化工事 本館正面入り口自動ドア、スロープ設置 本館 2 階多目的トイレ エアコン設置工事 本館理化学実験室 恵陵館 239 講義室 トイレ改修工事 恵陵 1・2 階 4 その他 <p>名寄市教育委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名寄市立小中学校施設整備計画の概要について 2 平成 30 年度就学援助金（新入学児童生徒学用品費）手続きの流れについて 3 平成 30 年第 1 回定例会提出予定の主な補正予算（案）について 4 その他 <p>総務部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主要施策について <ul style="list-style-type: none"> 企画課 風連御料線の一部デマンド化に向けた実証運行結果について 総務課 名寄市個人情報保護条例の一部改正について 総務部参事（防災担当） 名寄市国民保護計画の変更について 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信の開始について 					

総務部参事（風連地区地域振興担当）
風連地区集会施設の管理・運営について

2 その他

第2回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年4月12日	会場	名寄市立大学	案件	所管事項の調査
出席委員	東千春、高野美枝子、佐藤靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

名寄市教育委員会

- 1 ジュニアオリンピック開催に伴う宿泊者数について「スポーツ・合宿推進課」
- 2 名寄市立小中学校施設整備計画（素案）について「学校教育課」
- 3 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について「指導主事」

総務部

- 1 主要施策について

企画課

構造改革特別区域計画の策定について

総務部参事（防災担当）

名寄市地域防災計画の一部修正について
洪水ハザードマップについて

- 2 その他

名寄市立大学

- 1 名寄市立大学図書館の役割と課題について
- 2 5号館（新棟）見学

第3回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年5月24日	会場	第一委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東千春、高野美枝子、佐藤靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

名寄市立大学

名寄市立大学の現況について

総務部

1 主要施策について

企画課

- ・名寄市総合計画（第2次）中期計画策定作業等について
- ・生産空間の維持、物流の拠点化について
- ・宗谷本線活性化推進協議会について
- ・「町内会長と行政との懇談会」の開催について
- ・名寄市地域公共交通網形成計画の策定について

総務課

- ・ふるさと応援寄附について
- ・平成30年度情報化推進事業について

総務部（行革・職員・研修担当）

- ・職員研修について
- ・より良い職場環境の整備について

総務部（防災担当）

- ・名寄市防災訓練について
- ・復興元気事業・なよろ夏休み防災・科学スクール2018
- ・シェイクアウト訓練
- ・自主防災組織設立支援等について

名寄市教育委員会

1 平成 30 年度所管事項の概要について

「学校教育課」「指導主事」「生涯学習課・名寄公民館」「スポーツ・合宿推進課」「智恵文公民館」「生涯学習・風連公民館」「児童センター・青少年センター・教育相談センター」「北国博物館」「図書館」「天文台」「学校給食センター」

第4回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年6月25日	会場	大会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	東千春、高野美枝子、佐藤靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

松岡名寄市参事監（企画担当）の講演

「2年間の振り返りとこれからについて」
名寄で2年間暮らしての感想、振り返り
派遣者報告会など報告
地方創生・地方行財政の展望について

配布資料

「ファイナンス」平成30年5月号配布
財務省広報誌に派遣者で企画を持ち込み、寄稿した

第12回派遣者報告会報告資料

6月22日東京で報告

まち・ひと・しごと創生基本方針2018概要

6月15日に閣議決定された国の基本方針の2018概要

「明るい公務員講座（仕事の達人編）」抜粋

元復興庁事務次官著書より抜粋

松岡参事監は、地方創生や地方自治、地方財政などの知識を有する人材確保を目的とする「地方創生人材支援制度」により財務省から名寄市に派遣され6月末で2年間の任期を終えて財務省に戻るため講演を依頼しこの2年間の振り返っていただいた。

冬期スポーツ拠点化プロジェクト、名寄市立大学地域のケア力向上プロジェクト・名寄ワイン特区等の事業に取り組んだこと等、名寄で経験した貴重な2年間の仕事を今後の仕事に活かしたい。

交流人口、定住人口だけでなく中間の関係人口も大切にして今後も「地域の価値を発信し続けることが大切」と結ばれた。

第 5 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成 30 年 7 月 12 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東千春、高野美枝子、佐藤靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

・名寄市の新しい図書館像について

総務文教常任委員会では 1970 年に建設された市立名寄図書館の老朽化や現代の市民ニーズにあった図書館運営を課題とし、名寄らしい図書館をテーマに今任期が始まった 3 年前から道内外 8 カ所の図書館施設を視察調査してきた。

市立名寄図書館建物の施設機能の老朽化・市民からの新図書館建設の必要性の声が聞かれることから 12 月末までに名寄らしい図書館像をまとめ上げる。

今後の図書館建設に対し結論をだすのではなく、今後の行政。市民議論の参考としてもらうためのまとめ方とする。

図書館の現状と課題を明確にし、最終的に市民に望まれる図書館像をまとめる。

大学図書館との連携も視野に入れて協議する。

現在建設中で来年完成する風連中央小学校に図書館風連分館が整備されることから名寄市全体の総体的な図書館議論が必要。

今後は月 2 回程度の協議を重ね、市民に望まれる名寄らしい図書館像をまとめる。

第 6 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年8月3日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 名寄東中学校のコンクリートブロック塀について

地震対策に備えて「立ち入り禁止」の表示を行い、塀の撤去か1m20cm未満とするか検討したが5段中3段を撤去し1m20cm未満の高さに抑える工事を実施することとしたとの報告がありました。

2. 図書館に関する調査について

河合教育部長、鈴木図書館長の出席を求め、①図書館本館・分館の利用状況について②図書館における課題等について③今後の風連分館の考え方について④歴史民俗資料館の利用状況と今後のあり方について（口頭説明）⑤移動図書館の利用状況について⑥移動図書館の運行状況について⑦風連中央小学校のセキュリティ対策について、説明を受け質疑を行いました。

施設の老朽化状況では耐震化テスト未実施、恒常的な雨漏り、バリアフリー化されていない状況について、当初設計と異なる利用による不便さ、駐車スペースが狭い、国際親善メモリアルホールの非有効活用、施設的蔵書収納能力の限界、スペース的な制約による児童書配置の分離などの課題が挙げられました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第7回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年8月17日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 総務部所管事項調査について

- ・ 第1回名寄市地域公共交通活性化協議会では風連御料線の一部デマンド化について
- ・ 地域建設業経営強化融買制度及び下請セーフティーネット債務保証事業について
- ・ JR名寄駅舎の改修について

2. 教育行政の推進について

- ・ 名寄市図書館条例の一部を改正する条例（案）の概要について

3. 名寄市立大学の運営について

- ・ 小学生のオープンキャンパスを7月7日（土）に行いプログラムとしてはオリエンテーション、講義2コマ、ランチ、施設見学、DVD観賞（松阪市作成「松浦武四郎の生涯と功績」）を行いました。参加者は小学4～6年生27人。
- ・ オープンキャンパスは7月21日（土）に実施し、生徒219人保護者192人の合計411人の参加があった。今後は8月、10月に予定。
- ・ なよろ子ども支援プロジェクトでは子どもの学習支援、子ども食堂、居場所づくりを進めることで地域の子供たちの成長及び地域社会の形成に寄与することを目的に行われました。対象は市内小中学生及び保護者、1回目は7月28日に行い今後4回予定する。

4. 図書館に関する調査について

- ・ 主に建設位置について協議を進めました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第8回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年8月29日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

図書館に関する調査について

・名寄市立大学図書館会議室で「大学図書館の役割と市立図書館との連携」について西田大学図書館副館長から説明を受けました。

今後の課題と取り組みとして、図書館間のシステム連携、市内看護師の利用、メディカルオンライン医療系データベースの利用、児童書の貸し出しなどについて伺いました。

・資料では開館日数の推移、貸出冊数と貸出期間、年間利用者、貸出総数、図書資料、逐次刊行物数、図書館の滞在時間が示されました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第9回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年9月12日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

図書館に関する調査について

- ・複合施設について、各会派がこれまで訪問した図書館について
- ・これまで委員会として訪問した図書館（あかし市民図書館、北斗市総合文化センター「かなでーる」、岩出市立岩出図書館、瀬戸内市民図書館、赤穂市立図書館）等について再度評価を進めました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 10 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年10月4日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 総務部所管事業について

- ・輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会について

行動宣言として、組織において女性活躍を推進するためには、組織トップのコミットメントが重要です。本行動宣言は、女性活躍の加速に思いを持つ男性リーダーが、様々な女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう、自ら取り組むことを表明するものなどの説明を受けました。

2. 名寄市立大学の運営について

- ・名寄市立大学奨学金制度の創設について、概要の説明を受けました。

パブリックコメントを10月～11月に実施する等の説明を受けました。

3. 図書館に関する調査について

主に、図書館と学習環境について、図書館と情報発信について、図書館と指定管理について、専門知識を持つ人材と進め方についてなどについて協議を進めました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 11 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成 3 0 年 10 月 30 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 教育行政の推進について

- ・ 3 0 年度全国学力・学習状況調査の結果について

名寄市内の結果として小学校では国語 A は全国とほぼ同じで、国語 B ・算数 A ・算数 B が全国を上回った。理科は全国を下回った。

中学校では 5 科目（国語 A ・国語 B ・数学 A ・数学 B ・理科）全てが全国を上回った。

児童生徒質問紙からは、家庭学習の時間を 6 0 分程度している児童生徒が少ないなどの説明を受けました。

2. 図書館に関する調査について

- ・ 市民連合凜風会が視察を進めた「熊本県合志市立図書館」について報告を受けました。
- ・ 複合施設とのマッチングについて
- ・ 歴史と図書館についての進め方について
- ・ 報告書の素案について等協議を進めました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 12 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年11月7日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 総務部所管事業について

- ・ 国民健康保険税等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について、納期を6期から8期に改正し納税者の1回の支払額を減らすことにより、負担の軽減を図る。
- ・ 北・北海道中央圏域定住自立圏形成協定の一部変更について、図書館の相互利用の促進を削除、スポーツによるまちづくりの推進を追加、圏域生活基盤維持対策として物流網効率化の推進を追加などの説明を受けました。

2. 図書館に関する調査について

タイトルについて、未来（あす）を拓く「知」の館 ～市立名寄図書館の将来像について～とし、むすびについて次回までにまとめることとした。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 13 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年11月19日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 風連中央小学校の現地視察を行いました。
2. 名寄市立大学の運営について
 - ・名寄市立大学奨学金給付条例の制定についてパブリックコメントを実施した結果、意見等の提出はなかったとの報告を受けました。
 - ・名寄市立大学奨学金給付条例（素案）について説明を受けました。
3. 総務部所管事業については、北・北海道中央圏域定住自立圏形成協定の一部変更について（資料の訂正）について
4. 図書館に関する調査について
 - ・（まとめとしての）歴史と図書館について協議しました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 14 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年11月30日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 図書館に関する調査について
最終的な文言整理を行い、図書館に関する所管事項調査報告をまとめました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 15 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年12月5日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 名寄市立大学奨学金給付条例の制定について（平成30年第4回定例会付託議案第1号会期内審議）
 - ・資料について
 - 資料1 名寄市立大学奨学金制度の創設について
 - ・名寄市立大学の将来構想に「本学独自の給付型奨学金制度の検討」が掲載されている。
 - ・学生の54.2%が日本学生支援機構の貸与型奨学金を受給している。
 - ・給付型奨学金は2年生以上各学年各学科1名に支給する（1年次は支給しない）
 - ・災害等一時給付月奨学金は住宅の全壊・半壊等の大規模な災害時、又は世帯主等が死亡した場合などに、一時的に給付する（10万円を限度）。
 - 資料3 日本学生支援機構貸与型奨学金における出身世帯の所得制限と本学奨学金の考え方では1種・2種併用者を生活困窮のラインとした。
 - 資料4 公立大学における奨学金の状況では、全国各大学の状況と、北海道内では初の制度となる。
 - 資料5 国の高等教育の負担軽減の具体的方策について、現状で考えられている無償化について。
 - 資料6 名寄市立大学生の奨学金貸与状況については、栄養50.6%、看護60.0%、社会福祉53.2%、社会保育51.7%、合計で54.2%が貸与を受けている。
 - 資料7 授業料の減免状況については平成29年度で71名が対象となっている。
 - 資料8 想定される今後のスケジュール
- その他の資料では名寄市立大学奨学金制度の概要、ふるさと納税「大学に関する事業」に係る寄付額の推移についての説明を受け、質疑を行いました。
- 委員からの「2年次からの給付にした理由について」の質問には、入試には推薦と、一般があり入試の成績で判断することは難しく、入学してからのがんばりを評価したい。「成績が最も優秀な人よりも2番目の人が困窮度合いが高い場合の判断は」との質問には、独自に設けている成績評価値の規定があり秀が4点、優が3点、良が2点、可が1点、不可が0点というポイントがあり、これに当該授業科目の単位数を乗じて得た数値がグレートポイントでGPと言い、これを合計したものがグレートポイントアベレージでGPAと呼び各学科、各学年1名GPAの1番よい学生に支給したいなどの質疑が行われました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 16 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年12月10日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 名寄市立大学奨学金給付条例の制定について

・追加資料について

追加資料1 名寄市立大学奨学金給付条例施行規則の構成案については、第1章総則、第2章給付型奨学金の手続き、給付日①7/15に6カ月分 ②10/15に3か月分 ③1/15に3か月分などについて、第3章災害等一時給付奨学金では、申請手続き、決定手続き取り消し等の手続きについて、第4章では奨学金審査委員会設置について記載する予定。

追加資料2 国の高等教育無償化対策における影響額では授業料として30,183,400円 入学金で2,694,000円を見込む。平成29年度授業料減免額4,822,200円を差し引くと28,055,200円の影響となる。

追加資料3 平成30年度在学生の日本学生支援機構利用状況では1種利用39.1% 2種利用42.9%、併用18.0%、貸与状況では月額30,000円～51,000円が54.9%だが、101,000円以上の貸与者は55名などとなっている。

追加資料4 仕送り、アルバイトに関する資料では仕送りなしが、36.3%、アルバイト収入で月額25,000円～75,000円未満が67.2%、アルバイトの状況で長期休業・授業期間とも行うが、69.1%などの説明を受け質疑を行いました。

委員からの「寄付を募る際の周知方法等について」の質問には、すでに市内事業者からいただいている活用目的を指定した寄付については、奨学金基金設置後に積立て直すこととし、周知では金融機関や団体等に説明をしておき今後もお願いや説明に努めたい。「説明資料にある国際交流等奨学金と地元就業奨学金と基金の関係について」の質問には、寄付者の意向が指定されている寄付については利用目的に沿って使わせていただきたい。「受給者の欠員が出た際の対応を明確にすべきではないか」との質問には、規則で明記したい。「給付の取り消しや返還の場合の対応について」の質問には、それらの手続きを規則に明記したい。「国の制度と合わせて今後の考えを」との質問には、制度設計では本来金額も人数も広げたいというのが学内の一致した考えだが、財源との調整もある。本制度をスタートさせ、今後も検証を重ねたい。「国の無償化の今後の見通しについて」の質問には、一部の全国紙の記事情報では、公立大学では授業料等の減額分の交付税措置を別枠で行うのではなく、授業料の減免や未納分を見込んだ11%程度がすでに交付税に含まれており、影響額が直接影響することが考えられる。「1年生への給付に対する今後の考えは」との質問には、入試の種類が3つあることと、財源を検証しながら検討したい。「家屋災害の際の一時金10万円が十分か」との質問には、10万円が救われるかは分からないが支援が学習の一助という趣旨を含んでいるとの答弁がありました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春

第 17 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	平成30年12月14日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東 千春、高野美枝子、佐藤 靖、山田典幸、野田三樹也、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1. 名寄市立大学奨学金給付条例の制定について

松島事務局長から冒頭に発言があり、2回の審査の状況を踏まえて、1年生への給付型奨学金の給付について入試区分が推薦と一般入試の前期、後期があり、その中から1名を選ぶことが困難、学内議論で入学時の成績より入学後にがんばった学生に支給したいとの考えや財源の課題から1年生には支給をしないこととしていたが、委員会の質疑の中から学生確保の観点も含めて新1年生から該当させるべきでないかとの意見が多く、学内及び設置者との協議を行い、選考方法や財源の問題はあるものの、学生確保の観点から必要性を確認した。本制度を平成31年度からスタートさせた後に、1年生を対象にする場合の選考要件や寄付金の状況も含めた財源などの課題について、平成32年度の募集に間に合うように検討、協議を進めたい。また、特に解釈が分かりにくい表現等については規則に規定できる部分は折り込み、分かりやすい資料の作成などに努めたい旨の発言がありました。

その後委員間の議論を行い、委員からは本制度をスタートさせる中で、平成32年度までに1年生への対応を評価する意見が述べられ、異議がないことから討議、討論を省略し採決を行い、平成30年第4回定例会付託議案第1号「名寄市立大学奨学金給付条例の制定について」は、全会一致で、原案の通り可決すべきものと決定しました。

報告者 総務文教常任委員会 委員長 東 千春